

令和 3 年度における認知症地域支援推進員の特色ある取組について

区	特色ある取組
中区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年性認知症の人が安心して過ごし、やりがいを見つけられるつどいのある認知症カフェやその家族の交流の場を、コロナ禍でもできる限り開催に向け支援した。多世代交流の場での木工品の販売などを通して、地域とのつながりも支援した。 ・ 地域の若い世代や企業を対象に、若年性認知症の正しい知識の普及啓発を目的に研修会を行った。
東区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症カフェのない地域で、認知症サポーター養成講座修了者や金融機関や販売店、地域住民、保健センター保健師等と協力し、立ち上げの支援をした。 ・ 「認知症けあカフェ」や「シンポジウム」を計画的に毎年開催している。医療・介護・障害福祉関係者などの専門職だけでなく、新たに金融機関を含めて連携ができ、認知症の支援のネットワークが深まった。
南区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療系の大学生を対象とした認知症サポーター養成講座をきっかけに、ステップアップ講座を開催し、大学生が認知症カフェの運営をしている。介護事業所、地域住民などの協力を得ながら運営の支援している。 ・ 日頃の活動を通して認知症の地域支援体制づくりにおける区及び圏域ごとの課題を把握し、地域包括支援センターと協議を重ね事業を展開している。
西区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年性認知症の人とその家族が集う場の運営を継続して支援している。本人のやりたいことの創出や仲間づくりなるよう行事を一緒に考えて行っている。家族には不安や心配事を互いに話せる場づくりに取り組んだ。 ・ 地域包括支援センターとの連絡会を定期的に関き、活動や課題の共有をしている。認知症アドバイザー交流会や認知症カフェ店長会を協力して開催している。
安佐南区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年性認知症の人とその家族に寄り添った支援と、本人の思いを生かした活動や集いの場を増やす取り組みを行っている。若年性認知症の本人の意志で立ち上げ店長を務める認知症カフェの運営支援を行っている。 ・ 認知症の人への声掛け研修等を含め、数年かけて段階的に地域の認知症への理解を深める取り組みを、地域包括支援センターと共に取り組んでいる。
安佐北区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年性認知症の人とその家族が集う交流会を、認知症カフェの支援者などの協力を得て行った。子どもも一緒に楽しめ、家族同士が交流できるよう支援した。 ・ 若年性認知症の家族が一人で抱えず本当の気持ちが言えるよう妻だけの会を安佐南区と合同で継続して取り組んでいる。
安芸区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症あんしんガイドブックの活用について、地域団体の定例会、金融機関、ケアマネジャーの連絡会、地域のサロンなどでミニ研修会を開催し普及に取り組んだ。 ・ 若い世代を対象とした認知症サポーター養成講座を、若年性認知症の内容も含めオンラインで開催した。
佐伯区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年性認知症の支援について、地域包括支援センターや認知症疾患医療センターと合同で、佐伯区認知症サポート医など医療や介護、障害福祉職、地区役員を対象に多職種連携会議を開催した。 ・ 区内の地域包括支援センターの認知症担当者と連携し、認知症アドバイザー交流会を開催し、顔の見える関係づくりとなるよう取り組んだ。